石川県看護協会

令和５年度

外来における
在宅療養支援能力向上のための研修
（集合講義　＋　演習）

在宅療養支援の要となる外来看護職員を対象とした研修です
講義と演習の組み合わせで実践力の強化を目指します。

研修目的

- 外来看護を取り巻く現状と課題のもと、地域における自施設の外来が果たすべき役割と、自らが外来で担うべき役割を認識するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得できる。
- 習得した知識を、在宅療養支援の強化に向けた取り組みに役立てることができる。

対象

石川県内の医療機関（個人医院含む）の外来に勤務している、または勤務予定のある看護職員（常勤や非常勤、短時間勤務等の勤務形態はとわない。救急外来勤務も含む）
定員　８０名

受講方法

1回目：集合講義　　2回目：集合演習

日時/場所

1回目：令和６年２月１１日（日）　９時　～１２時３０分　（受付８時～）
2回目：令和６年２月２３日（金）　９時　～１２時３０分　（受付８時～）
会場：　地場産業振興センター本館２階　第１研修室（金沢市鞍月2丁目1番地）

受講料

無料

［申込期間
令和５年11月20日～
令和6年1月5日

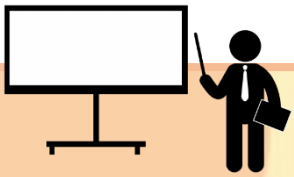
申込方法

QRコードまたは石川県看護協会HPよりお申込みください。
石川県看護協会HP → 教育計画・学会 → 研修プログラム

研修会申込

【お問合わせ】
公益社団法人　石川県看護協会　担当：塩村
電話：076-232-3573　FAX　076-232-3973　Mail shiomura@nr-kr.or.jp

研修プログラム



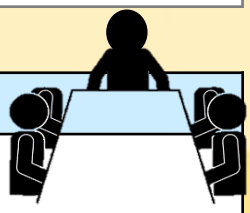
●1回目： 集合講義

章	単元／主な内容	講師(所属等) ※敬称略	時間
1	**外来看護を取り巻く現状と課題、国の政策動向等に基づく外来看護職の役割** 1. 外来看護を取り巻く環境の変化 2. 外来医療に関する政策動向 3. 社会の変化と政策動向に基づく外来看護職の役割	吉川 久美子 （公益社団法人日本看護協会常任理事）	40分
2	**外来における在宅療養支援** 1. 在宅療養支援とは 2. なぜ在宅療養支援が必要か 3. 在宅療養支援を担う看護職の役割	永田 智子 （慶応義塾大学看護医療学部教授）	40分
3	**在宅療養を支える地域連携とネットワーク** 1. なぜ地域連携が必要か 2. 地域との連携体制構築の方策	**吉田 千文** （常磐大学看護学部教授）	40分
休憩			
4	**在宅療養患者(外来患者)の意思決定支援** 1. 意思決定の現状と課題 2. 外来看護職に求められる意思決定支援	藤井 淳子 （東京女子医科大学病院家族支援専門看護師）	40分
5	**在宅療養患者（外来患者）を支える社会資源** 1. 在宅療養患者が活用可能な社会資源の基礎知識 2. における多職種の連携・協働の実際と推進の必要性	**松本 明子** （医療法人社団聖カタリナ病院ナースマネージャー）	40分

●演習日（2回目）までの課題

講義を受講後、演習実施前までに下記①②について、各自がまとめる 。
①地域における自施設の役割と外来看護職として自らが担う役割等について
②外来における療養支援について自身が感じている課題

●2回目：演習



	主な内容
講義	石川県における、医療・看護を取り巻く状況等について 講師:石川県地域医療推進室
事例検討	グループディスカッション
全体共有	グループからの報告及び質疑応答　・意見交換